



# 小学生もみんな消費者!

- ここで学ぶこと
- 物とお金の流れ
  - 身近な消費者問題

Q 消費者ってどんな人?  
次の中から消費者にあたる人を選んでみましょう。

<p><b>ワオさん</b></p>  <p>近所のお店でおやつを買う。</p>	<p><b>カコさん</b></p>  <p>携帯電話で友だちにメールをする。</p>
<p><b>ヤスさん</b></p>  <p>お金をはらってバスに乗る。</p>	<p><b>マキさん</b></p>  <p>友だちと学校で待ち合わせをする。</p>

## 考えてみよう!

- 4人のうち、消費者としての行動をしている人をすべて挙げてください。
- 上の①でそう思ったのはなぜですか?
- 消費者とは、どのような行動をする人のことだと思いますか?
- あなたが経験したことのある「消費者としての行動」として、思いつくものを書いてください。

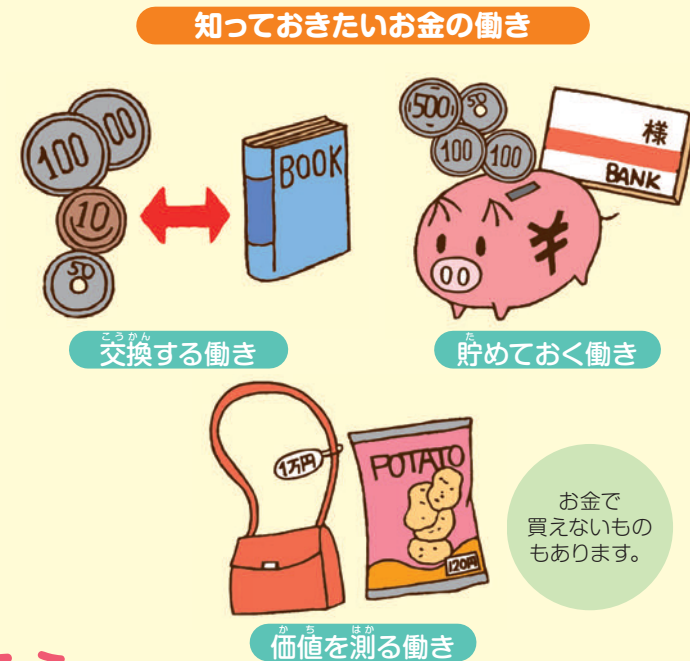
## もっと知ろう!

### ● お金って何だろう?

私たちがいつも当たり前に使っているお金って、そもそも何でしょうか?

お金とは、「ほしいものを手に入れたり、夢を実現したりするための道具」です。私たちはお金で物やサービスを買っていますが、お金ですべてのものが手に入るわけではありません。同じように、お金は夢を実現するための道具にはなりますが、お金さえあれば必ず夢が実現できるわけではありません。

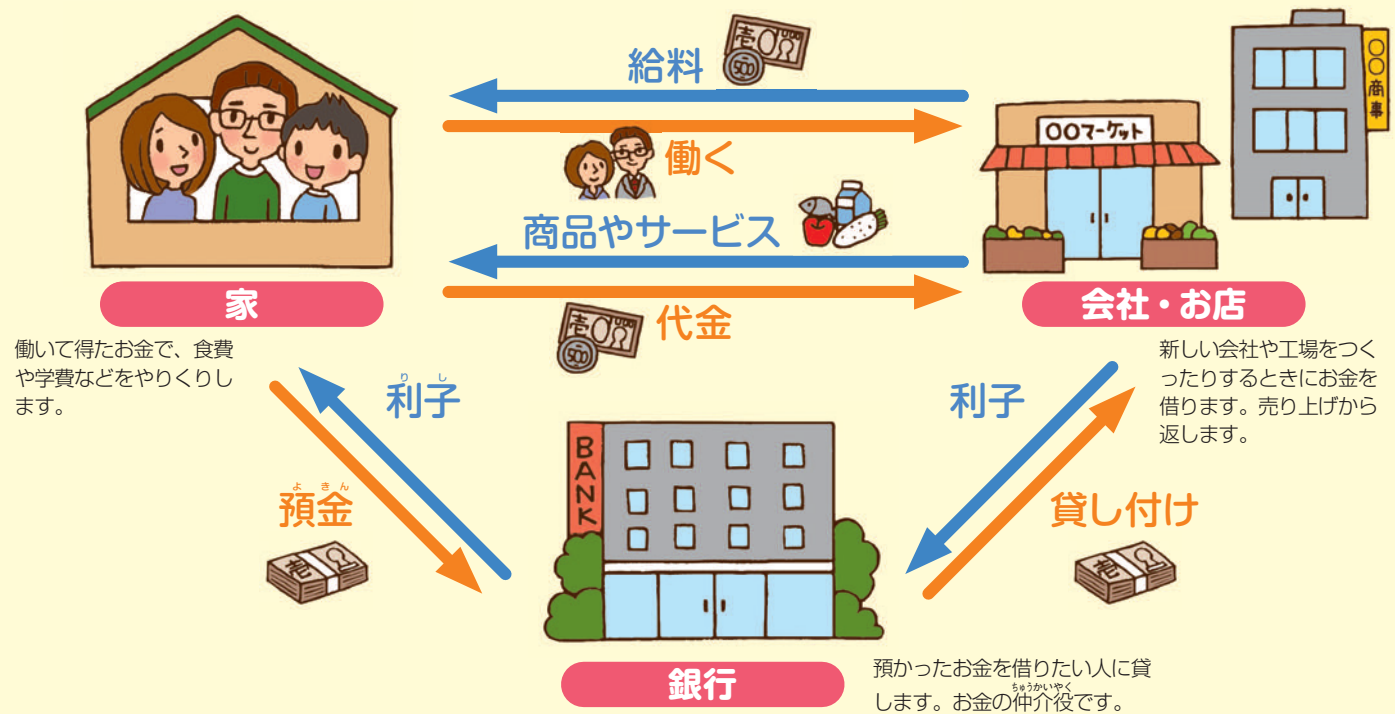
お金は便利で大切なものですが、あくまでも道具です。たくさんあればいいわけではなく、お金を使って何をすることが大切です。



### ● お金と商品の流れを知ろう

では、お金はどこからくるのでしょうか?

お金は銀行の窓口やATM(現金自動預け払い機)から出てきますが、それはうちの人が働いて得たお金を預けているから出てくるのです。ですから、働いて得る以上のお金を使えば、当然、お金はなくなってしまいます。お金がどのように流れているのかを理解して、大切に使うようにしましょう。



保護者の方へ。子供と一緒に考えましょう!

### 身近にある消費者トラブル。どうして起きるのかな?

- 新聞やテレビのニュースで取り上げられている消費者トラブル(ワンクリック詐欺、無料オンラインゲームのトラブルなど)について、親子で話し合ってみましょう。
- 消費者トラブルに巻きこまれる可能性は誰にでもあることを子供に教えましょう。
- 消費者トラブルが起きてしまったら、「すぐ大人に相談する」ことが大切だと子供に伝えましょう。早い段階で相談があれば、それだけトラブルの解決も早まります。

おかしいと思ったら、すぐに相談する約束を!

